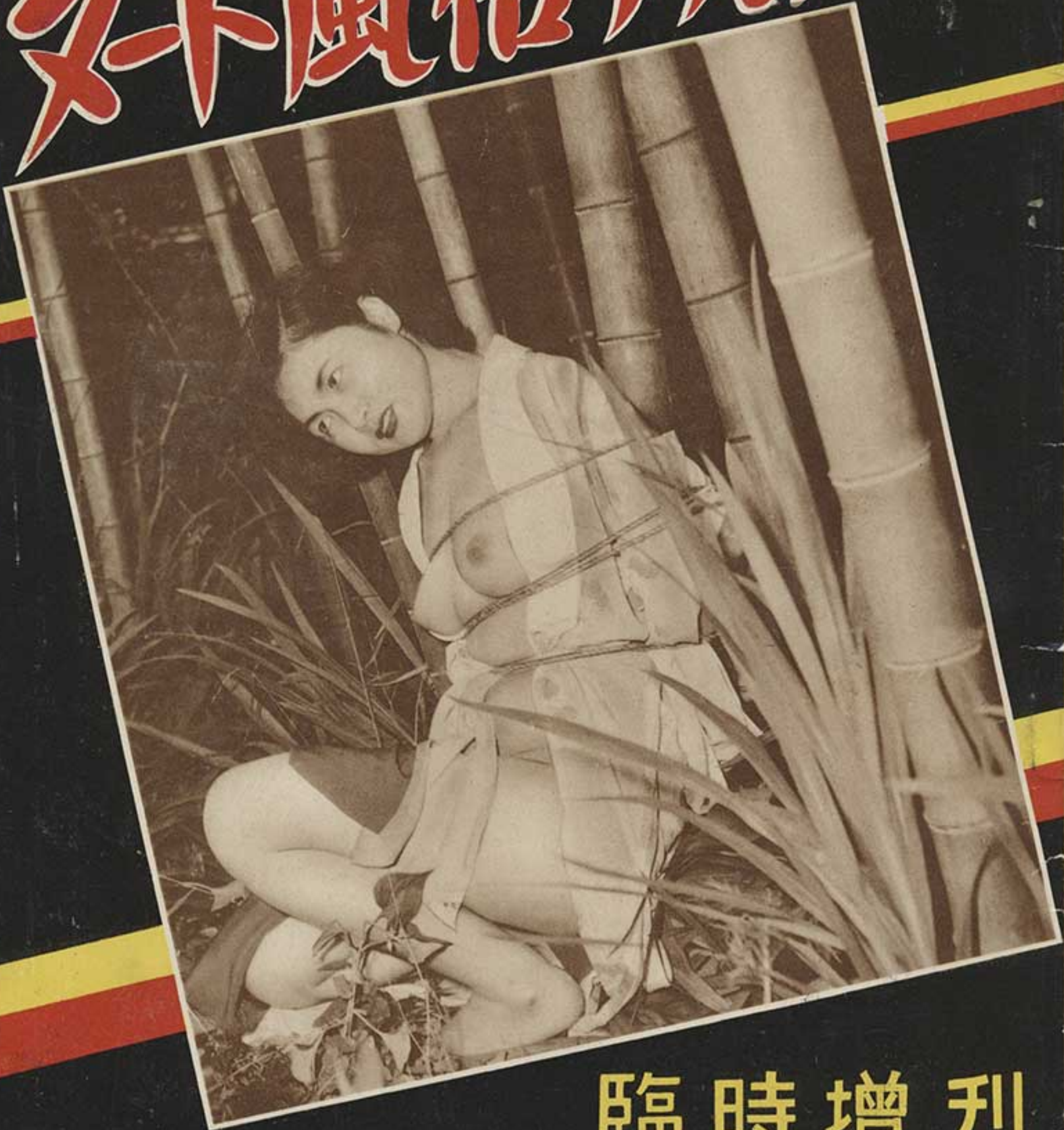


読切 **ロマンス** 特 寫

ヌード風俗アルバム



臨時増刊

昭和二十七年七月二十日印刷
昭和二十七年八月一日発行
東京西區東上町四丁目二十五番地
日本経済新聞社特設部編輯部 第七三三号



陸書房

¥ 150



目次	
風暗	3
暴明	10
残虐	18
加虐	30
地獄	36
性感	42
花嫁	46
憎の	56
地獄	58
喜への	68
深夜	70
裸像	74
淫ら	



「縛り絵」一年生

本誌が「女の貞操」をメロドラマ風に描き上げてからもう一年になる。初めてこの企画をこころみるとき、実は非常に勇気と決意を必要とした。「女体を縛る」という課題が、果たしてどのような内容と表現し得るか、正直なところよくわからず冒険に思つたのである。

とにかく、清水を踏む思いでこのこころみを世に問うたのであつたが、果せるかな多くの読者からきびしい叱咤をいただいた。「一応、いすれもこの企画に対して貞潔と道徳の言葉を寄せられてはいたが、ほんとうは女体の縛り方やセクシーの表情についての欲求であつて、この仕事のためには、極端なことを痛感したのである。

まず、第一に感じたことはモデルの問題である。従来のメロドラマとちがつて特殊な条件を必要とするので、本誌の意図を理解してくれるモデルは殆んど絶無と云つていくらいであつた。これは、金銭づくてもよいとしても無理な話なので、モデルの物色にはすくなく苦労した。

そんなわけで、読者の叱咤にもかからず、毎号「縛る」と云ふよりは、これらしい構図の撮影でお茶を濁してきただけである。しかし、号を追うごとに読者の声はようやく真摯になり、「貞操」に対する具体的な意見や参考資料を寄せられるようになってきたので、いよいよこの仕事の容易でないことをさとつたのである。

「女の貞操」の研究はその半生を捧げていられた伊藤晴雨氏が、豊富な資料を遺しているの、これを参考にすることも知つてはいたが、そのなみなみなねがう、安易に模倣する気にはなれなかつた。したがつて、すべてを自己満足でやつてゆかなければならぬので、今日まで何百枚となくモデルを無駄にした。泣き出しなくなるような失敗をかさねてきたのである。

号数の多くは一年を経過、すでに二年目を迎えたわけであるが、よいかえつてみると、残念ながらも二年生には進歩がきこえる。何もかも、もういちどじめからやり直すと云ふことになつたので、本来ならば遺稿記念と云ふべきところなのだが、多くの読者のために応じて、厚顔ながらあえて「遺稿記念増刊」としてこの集積を見た次第である。

もとより、意に満たないものばかりではあるが、いささかも進歩の跡がみとめられればあやうである。

なお、本号は限定版一〇〇部として発売する予定だったが、取次店からの希望でどうしても限定部数では不足なので、やむなく増版することにした。予約読者はまことに申し訳ない次第であるが、何卒おしからず御座承願したい。(青)

読切ロマンス 臨時増刊 第四巻第十一号

昭和二十七年七月二十五日印刷 昭和二十七年八月一日発行

編集人 上田青柿郎 発行人 小林光雄 印刷人 加藤木豊三

東京都千代田区神田駿河台三ノ三 発行所 睦書房



静かなる暴風













明 暗



女 体



五



の
手紙

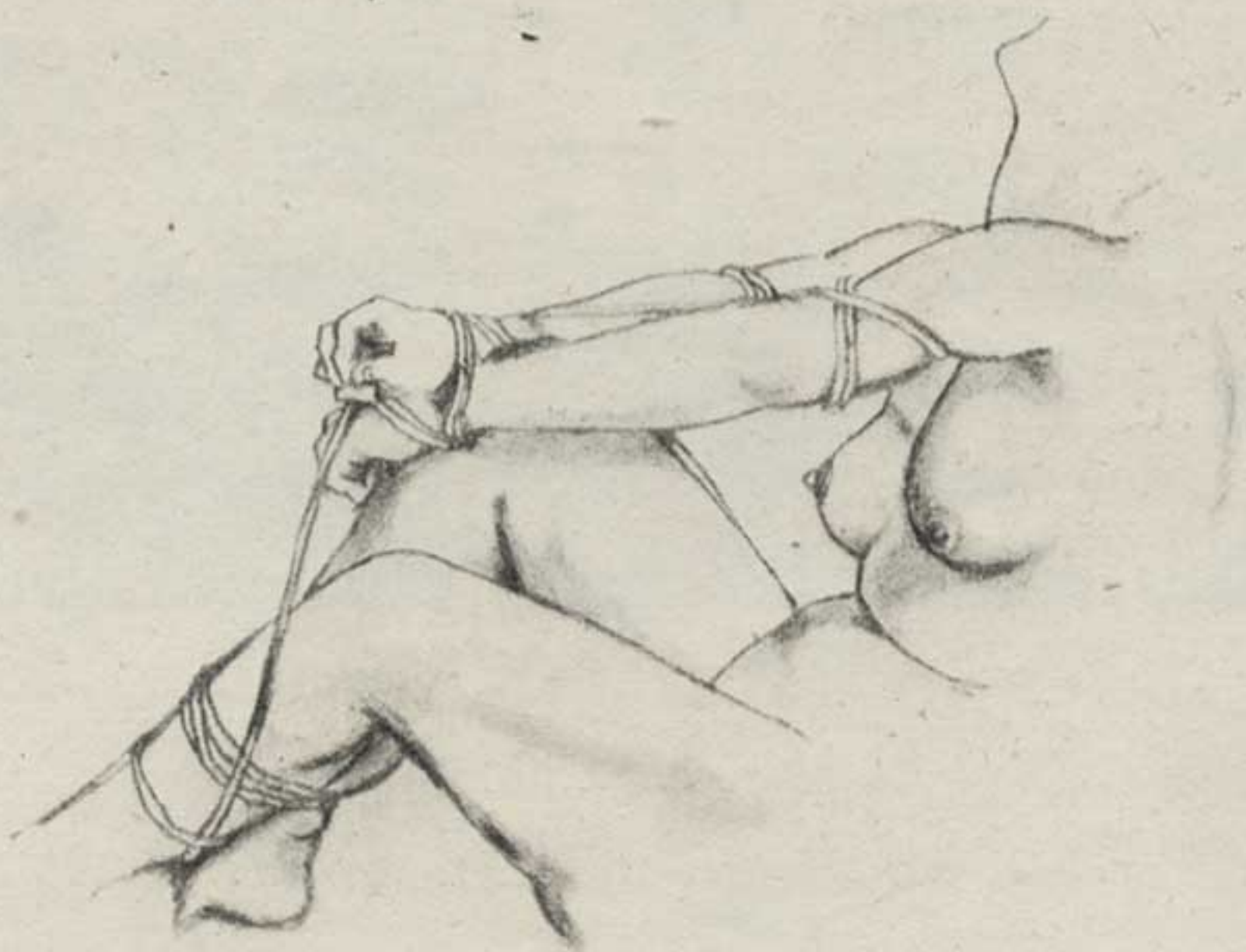


手紙
の
手紙

三
女
の
姿



三
女
の
姿
の
二
番

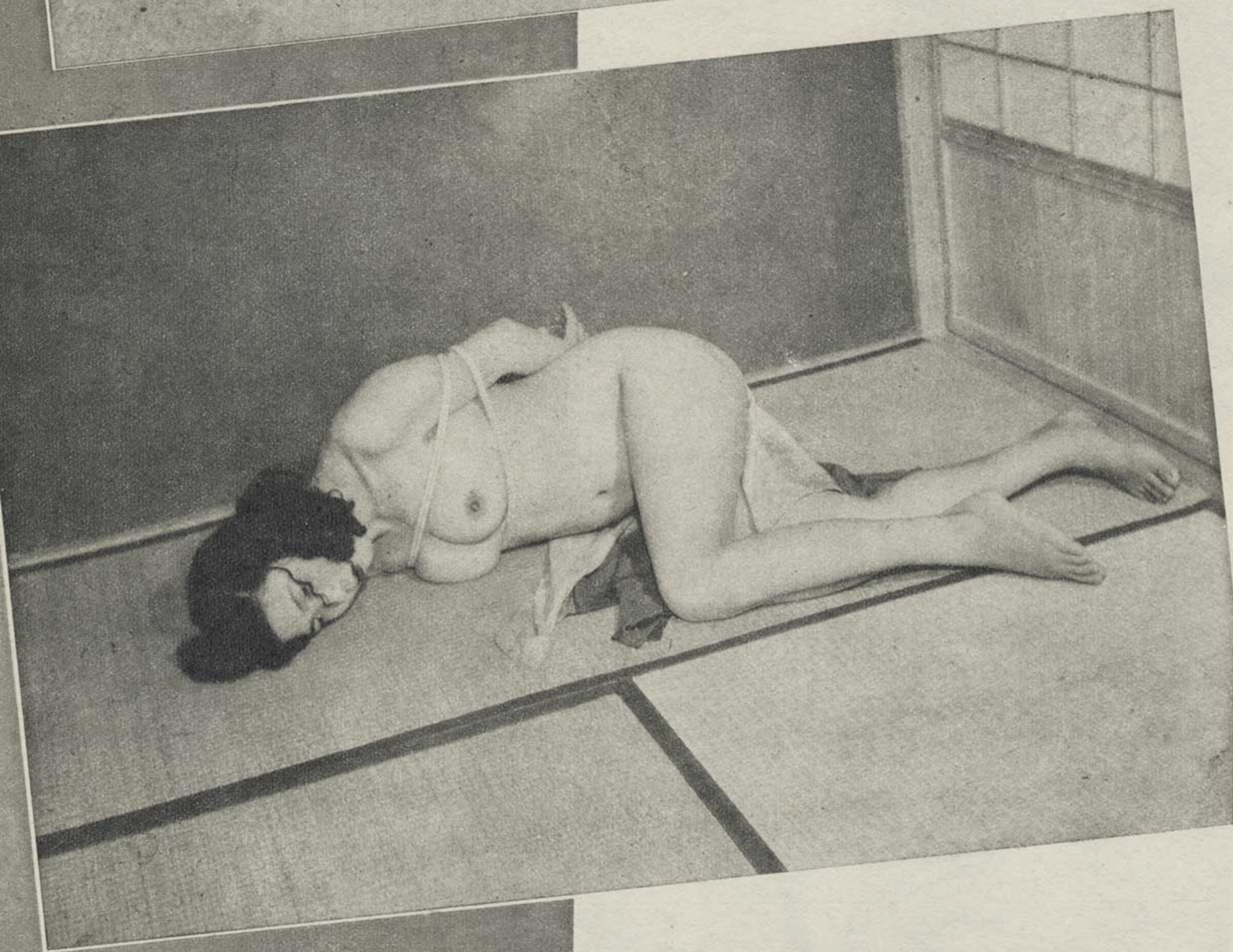
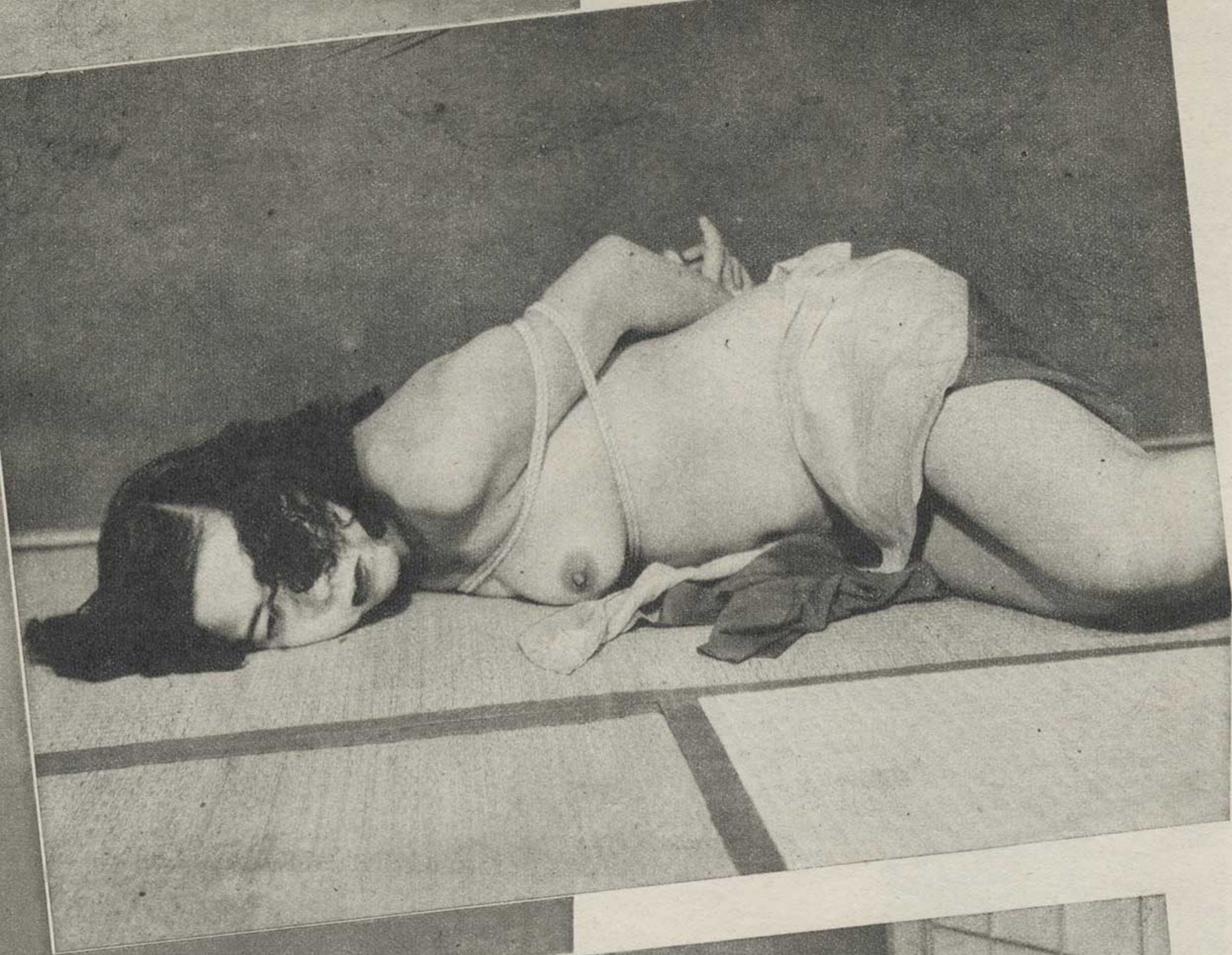


姐 子 子



人 子 子







美しき残虐



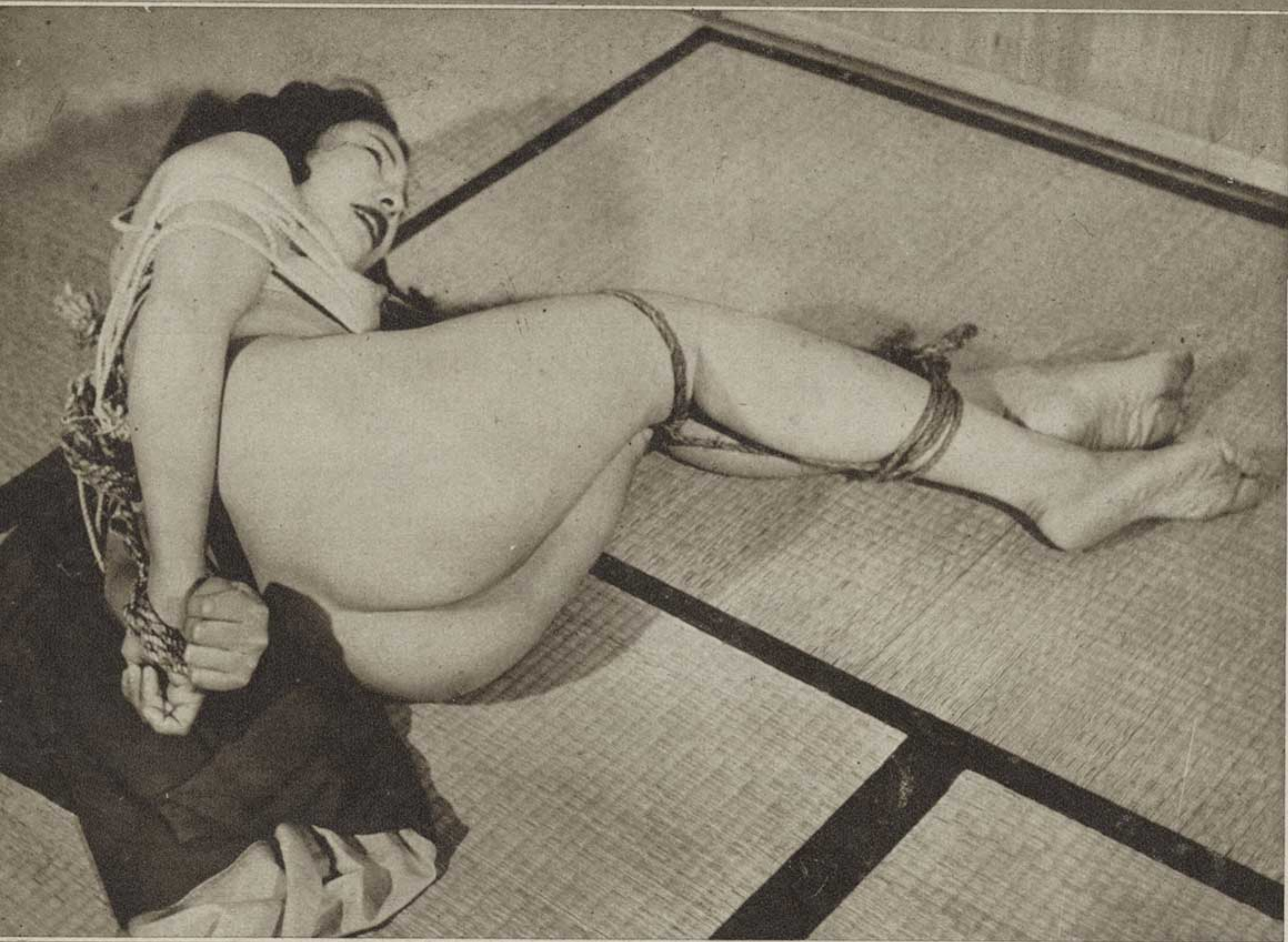


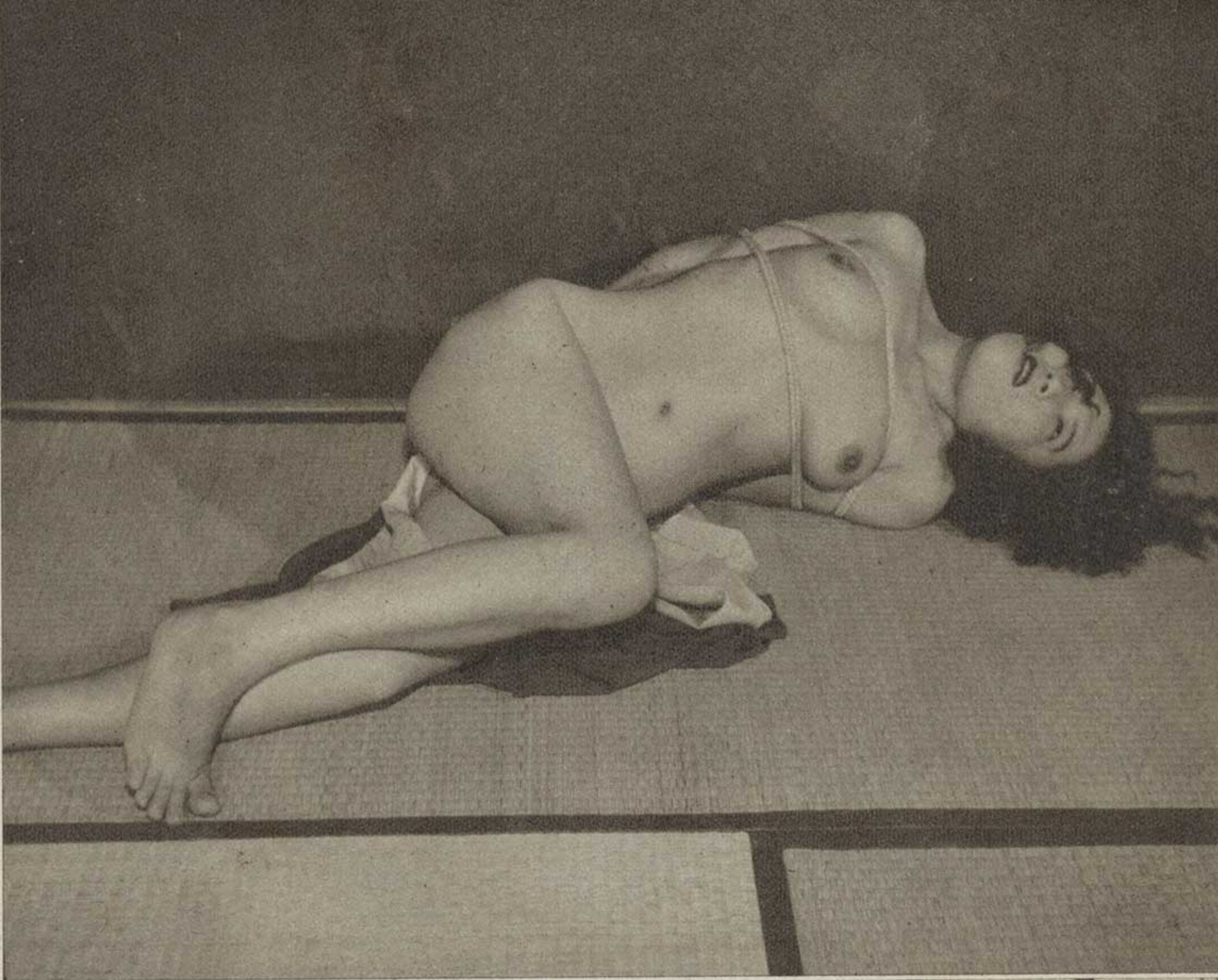
© 1911 by the
L. B. Nichols & Co.
New York, N. Y.

Handwritten text in a cursive script, likely a title or description, running vertically along the right edge of the image.









志平





Handwritten text in cursive script, likely a title or description, running vertically along the right edge of the image.

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, located at the top of the page.



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, located at the bottom of the page.





[illegible]

初夜の加虐者



白雲飛
白雲飛
白雲飛



そのまゝ

そのまゝ



そのまゝ

そのまゝ

そのまゝ



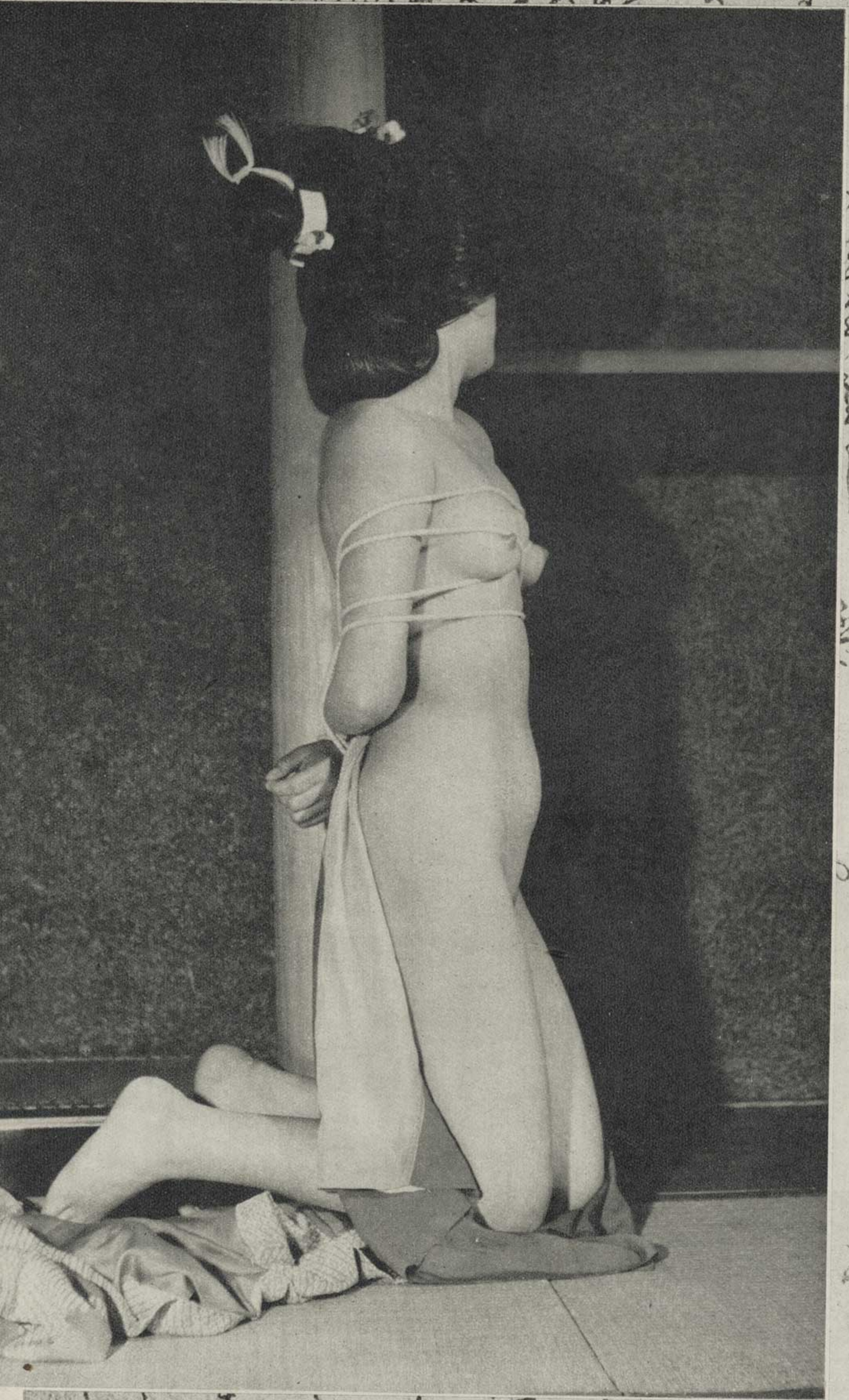
Handwritten Japanese text at the top of the page, likely a title or chapter heading.



Handwritten Japanese text below the first photograph, likely a subtitle or descriptive text.



Handwritten Japanese text on the right side of the page, likely a title or chapter heading.



Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a note, running vertically along the right edge of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a note, running horizontally along the top edge of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a note, running horizontally along the bottom edge of the page.



風流地獄







Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, running vertically along the left edge of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, running vertically along the left edge of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, running vertically along the left edge of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, running vertically along the left edge of the page.

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, likely a calligraphic work or a page from a manuscript.



ちくちくあけあけ

[illegible]

大
陸
山
中



花嫁性感表情

含羞



咏
よ
衣
あ
壺
か
袖

磬白雲飛

初夜の

ときめき

美人は花を
 見つめしむ
 かな



艶 情

美人は花を
 見つめしむ
 かな

花のうき世に
 花のうき世に
 花のうき世に

恍惚



忘我



まさか
 そ。よん
 初めの
 後と
 入
 山

扉の憎愛



愛憎の扉



25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200



そのまゝの如く



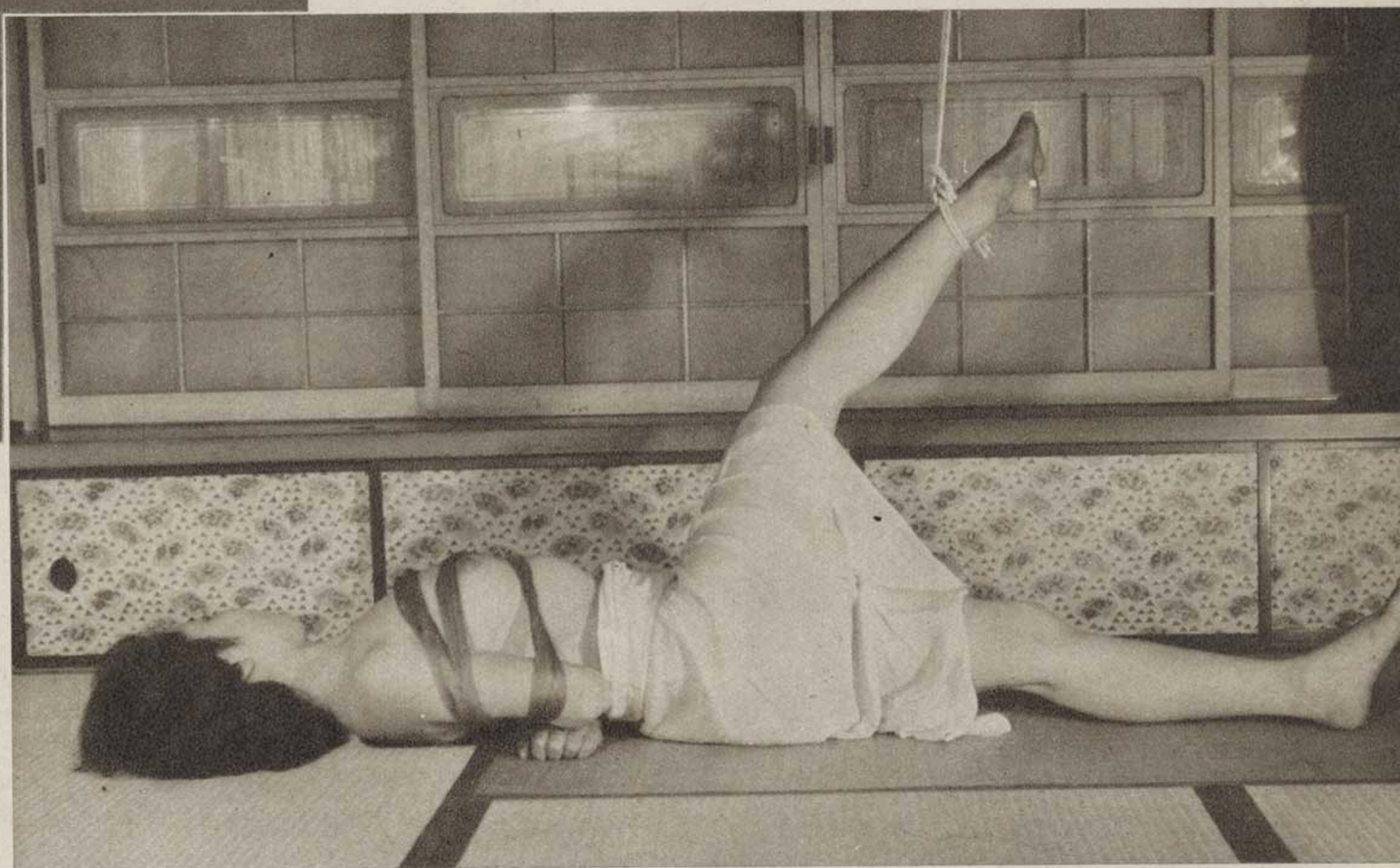
のまゝ

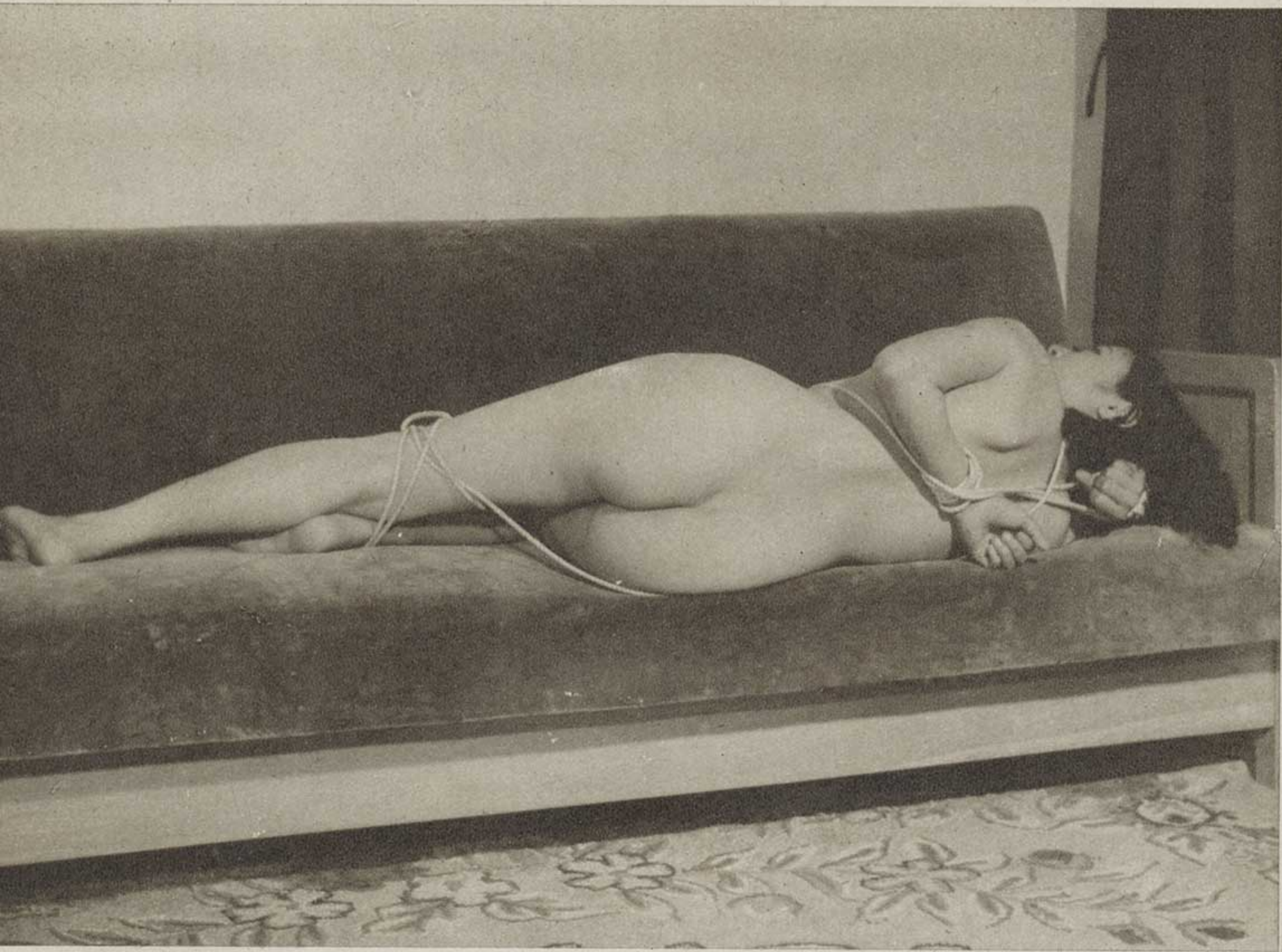
多々あゝあゝ



多々あゝあゝ









地獄の花園



歓喜への戦慄











一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百





第 二 卷

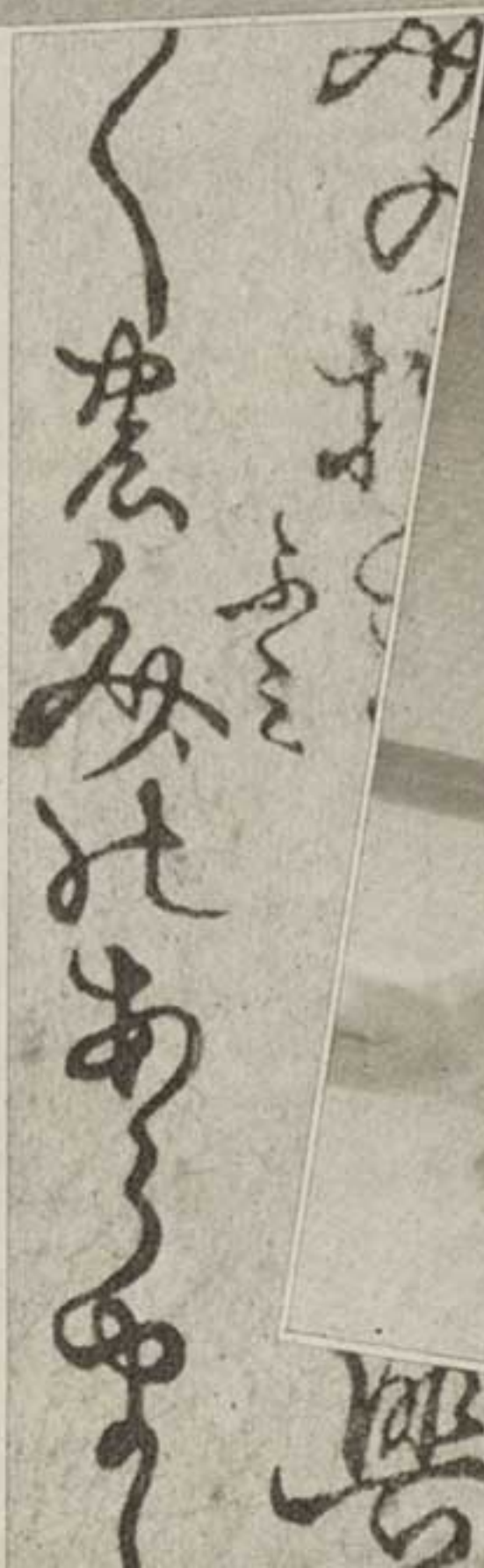


第 二 卷

第 二 卷



○ 乃 乃 乃 乃





Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, running vertically along the left edge of the page.



深夜の饗宴



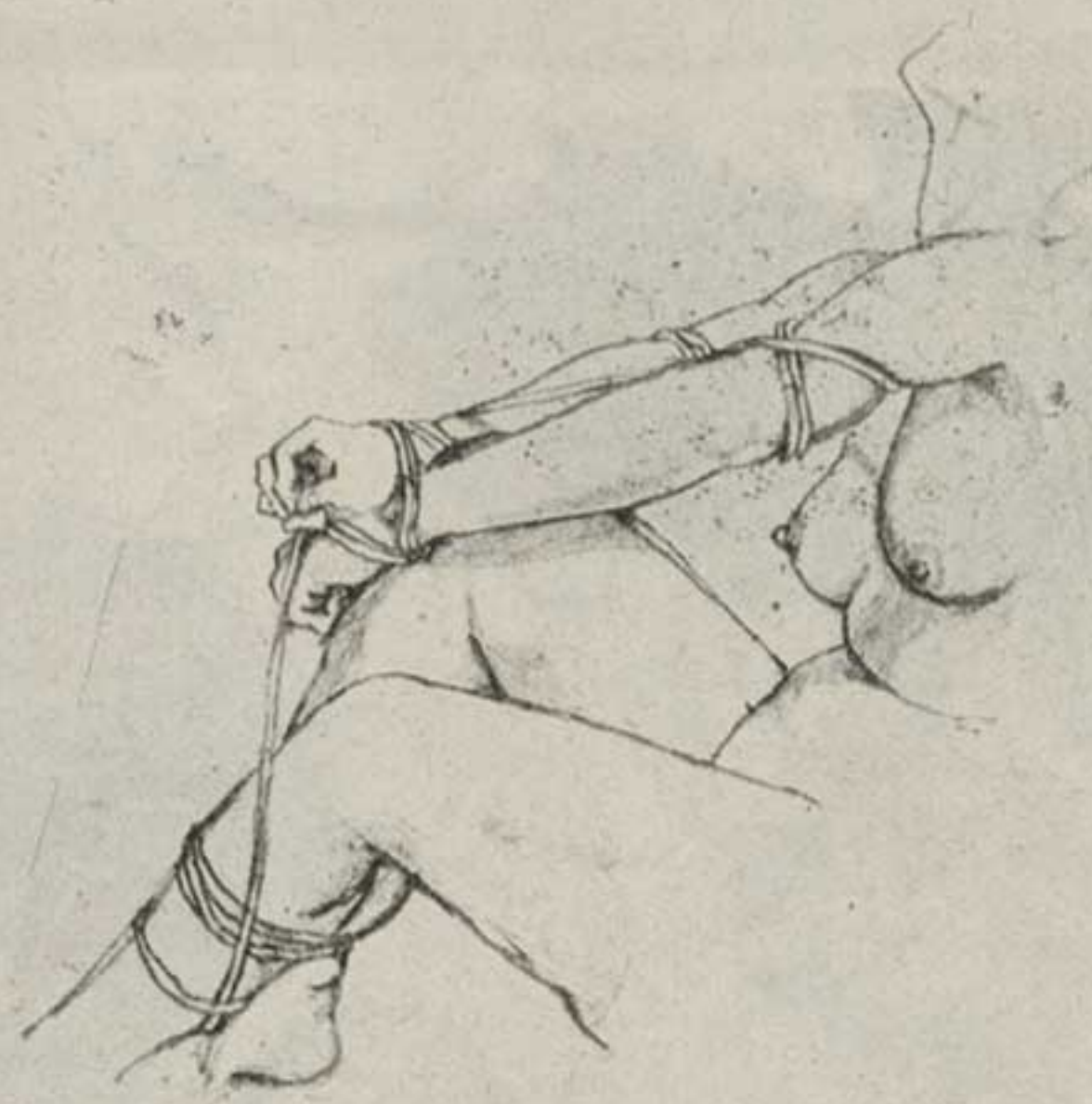
Handwritten Japanese text in cursive script, likely a diary or a letter, running vertically along the right edge of the page.



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in four vertical columns.



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in four vertical columns.

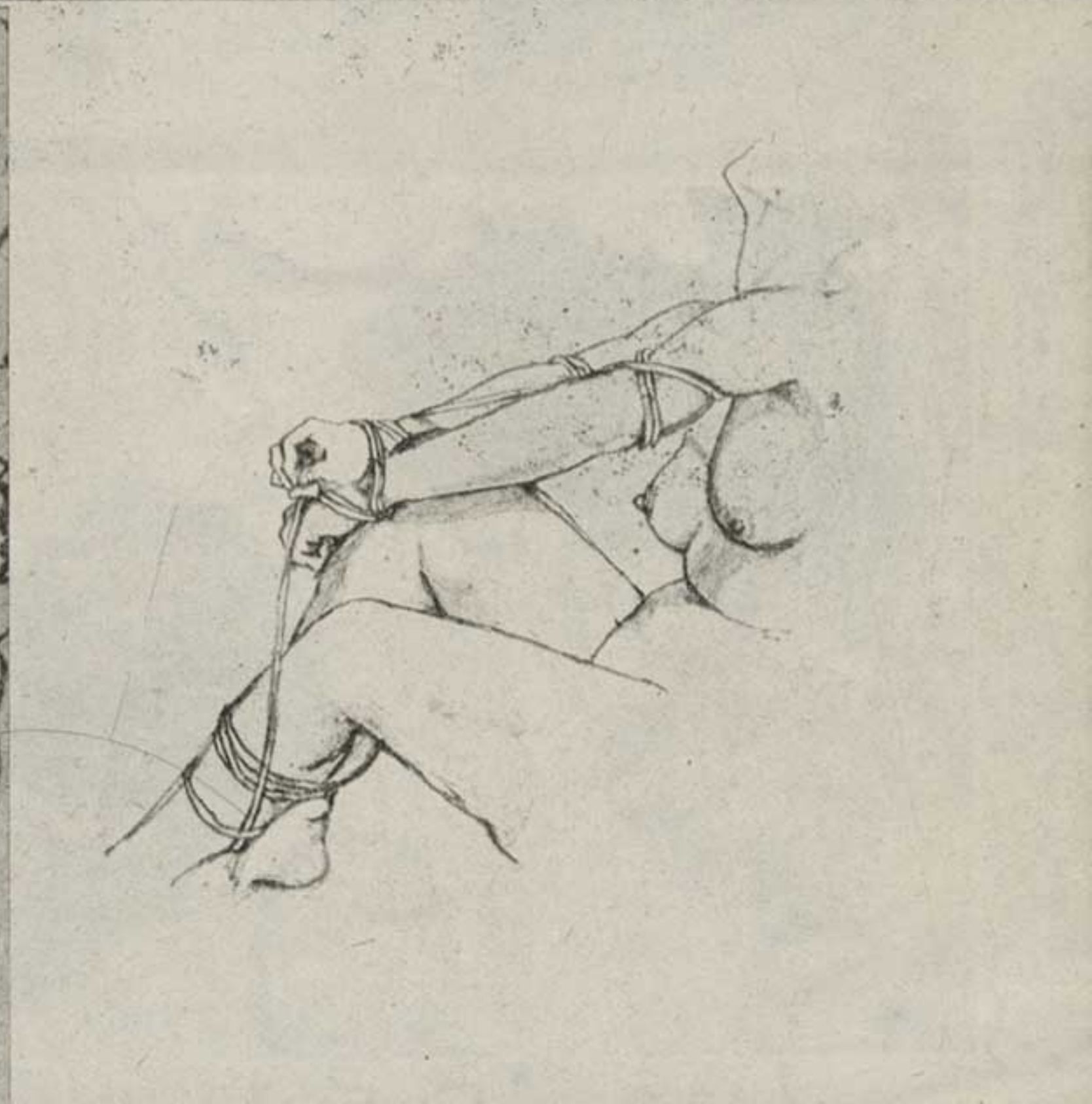




Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in four vertical columns.



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in four vertical columns.



20 42 3 24



2 2 3 13



3 1/6 7



淫らな樹木